【プレスリリース】

マカフィー株式会社
2020 年 11 月 25 日

※当資料は、米国時間 2020 年 11 月 17 日に米国で発表されたプレスリリースの抄訳です。

マカフィー、ホリデーシーズンのオンラインショッピング詐欺に警鐘

悪意ある活動が活発になる中、
オンラインでホリデーシーズンの買い物をする消費者をサイバー犯罪者が標的に

ニュースハイライト：

- オンラインショッピングは増加傾向にあり、米国人の 48%は今年、オンライン活動が増加したと回答
- ホリデーシーズン中、米国人の 60%はサイバー詐欺がより活発になると感じながらも、消費者の 37%はオンラインでの購買習慣を変える予定はないと回答
- リンクが安全でセキュアなものかを確認する消費者は半数以下で、潜在的な脅威に対する安全策を講じていない

デバイスからクラウドまでを保護するサイバーセキュリティ企業である米国マカフィー（McAfee Corp、本社：米国カリフォルニア州、Nasdaq：MCFE）は、今年のホリデーシーズンのオンラインショッピングをとりまく状況をまとめた「*2020 Holiday Season: State of Today's Digital e-Shopper*」を発表しました。調査によると、消費者はインターネットを介した詐欺やリスクの増加について認識している一方で、今年は例年より前倒しで、オンラインをより活用して買い物をする計画であることが明らかになりました。米国人の 60%がホリデーシーズン中はサイバー詐欺が横行していると感じているにもかかわらず、36%が贈り物や祝意を送るためにデジタルリンクをクリックしていると回答しています。

2019 年のブラックフライデーからサイバーマンデーにかけての週末商戦では 1 億 2,400 万人以上の消費者が店舗で買い物をしました。今回の調査では、世界的に影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症（COVID-19）がきっかけで消費者は行動を変え、生活、仕事、遊び、買い物のすべてをデバイスを通して行うようになり、サイバー脅威のリスクにさらされていることが判明しました。買い物は概ね増加傾向にあり、48%が COVID-19 の出現以来、オンラインでの購買が増えたと回答しています。消費者のほぼ 5 人に 1 人（18%）が毎日、3 人に 1 人（33%）が週 3〜5 日、オンラインで買い物をしています。

マカフィーの Advanced Threat Research チームは、オンラインのサイバー犯罪が増加し続けていることを示す根拠として、McAfee Labs が 2020 年第 2 四半期に検出した脅威が 1 分あたり 419 件に上ったという調査結果を挙げています。これは前四半期と比べておよそ 12%の増加となります。消費者と犯罪者の両者の活動が活発化する中、セキュリティの脅威に対する消費者の対策が十分かどうか懸念が高まっています。また、世代間で次のような大きな違いも見られます。

- 65 歳以上の 79%は COVID-19 によりサイバーリスクが増大したと感じ、18~24 歳で同じように答えたのは 69%
- 18~24 歳の 27%が電子メールあるいはテキストメッセージで送られてくる割引やお買い得情報が本物かどうかを確認

コンシューマー マーケティング担当 バイス プレジデントのジュディス・ビターリ（Judith Bitterli）は、次のように述べています。「消費者の購買行動が進化し、2020 年を通じて直面している課題に適応していく中で、今年のホリデーシーズンがどのようなものになるのか、多くの人は不安に感じています。オンラインショッピングが消費者の生活に浸透するにつれ、サイバー犯罪者がこのホリデーシーズンに消費者を騙そうと目論んでいることを認識し、自分や愛する人を守るために必要な措置を取る必要があります。」

消費者とサイバー犯罪者の両者が揃ってオンライン活動を活発にしているこの状況は、悪意ある不正行為に拍車をかける格好の起爆剤となっています。特に消費者の 37%はサイバーリスクを認識していながら、オンラインショッピングの習慣を変えるつもりはないとしています。この慎重さに欠ける対応は、回答者がお得な取引や割引をオファーされたときにより多く見られます。ブラックフライデーやサイバーマンデー関連で受け取った電子メールやテキストメッセージが本物で信頼できるかどうかを確認する人は 42%で、半数に及びませんでした。

さらに、全米小売業協会（NRF）のレポート（英文）によると、消費者の 54%はこのホリデーシーズンにギフトカードを受け取ることを望んでおり、マカフィーの調査では、回答者の 35%はこの要求を満たすために、今年はより多くのオンラインギフトカードを購入する予定と回答しています。回答者の 25%はギフトカードのリンクが安全であると決めてかかり、正規であるかを確認する必要な手順を省略する恐れもあり、これによって、悪い結果をもたらす可能性があります。

このホリデーシーズンを安全に過ごすために、マカフィーは次の対策を推奨します。

- 利用者が本人であるかの確認を二重にするべく**多要素認証を採用**し、個人データと個人情報を保護するためにセキュリティ対策を追加
- **Web サイトの閲覧は慎重に行い**、悪意あるリンクを介したマルウェアの侵入やフィッシングサイトへのアクセスをブロックするために McAfee WebAdvisor などのツールを使用してセキュリティを強化
- **ID を保護**し、重要な個人情報、財務情報を護るために、漏洩した場合の復旧ツールも備えた McAfee Identity Theft Protection（英語）の利用を推奨※

***2020 Holiday Season: State of Today's Digital e-Shopper* の調査方法：**
マカフィーでは調査会社「3Gem」に委託し、2020 年 10 月 8 日から 13 日までの間、米国に居住する 18 歳以上の成人 1,000 人を対象に調査しました。

※米国を対象

参考情報:

- オンラインセキュリティを保護しながらホリデーショッピングを楽しむには
- サイバーマンデー！オンラインショッピング詐欺から大切なものを守るための 10 のヒント

マカフィーについて
マカフィー（Nasdaq：MCFE）は、個人向けパーソナルセキュリティのリーダです。マカフィーのコンシューマーソリューションは、デバイスだけでなく人々の保護にも重点を置いています。オンラインの世界でのユーザーニーズに常に適応し、家族やコミュニティを適切なタイミングで適切なセキュリティで保護する統合型の直感的なソリューションでユーザーが安全に暮らせるように支援します。 詳細については、https://www.mcafee.com/ をご覧ください。

*McAfee、マカフィー、McAfee のロゴは、米国およびその他の国における米国法人 McAfee, LLC またはその関連会社の商標又は登録商標です。
*その他の会社名、製品名やブランドは、該当各社の商標又は登録商標です。

＜本情報のお問い合わせ＞

マカフィー株式会社（ https://www.mcafee.com/enterprise/ja-jp/home.html ）
広報担当 戸田
Tel: 070-2680-0731
hiromi_toda@mcafee.com

マカフィー広報担当
ウィタンアソシエイツ 担当：中根／桑村
mcafee-pr@witan.co.jp